



寄稿

卒業生からの 寄稿

卒業生からの寄稿

薬学部第一期生として

2008年度卒業 黒柳由美子

薬学部創設10周年を迎える、心からお祝いを申し上げます。

私たち第一期生が本学に入学したのは愛知万博が開催された2005年、日進学舎からのスタートでした。その後は楠元学舎での学生生活となりましたが、あれから早や10年の月日を過ごしてきたのかと、驚きと感慨を持って受け止めています。

在学することとなった時期は、4年制から6年制の課程へ移行する直前の年度でもあり、先輩のいない環境の中で自分たちがこの先どう進んでいけばよいのか、また今後どのように薬学教育が変わっていくのか、来たるべき大きな変化への期待と不安も抱えながら、皆が懸命に講義や実習に取り組んでいたのではないかと思います。

新設された学部であり過渡期でもあるということで、先生方におかれても、何かと試行錯誤の中でのご指導をいたしたこととなったのではないかと思いますが、親身になってご助言もいただくなど、おかげさまで、第一期生は全国でもトップの薬剤師国家試験合格率を達成し、卒業を迎えることができました。

薬学部での勉学は決して楽なものではありませんでしたが、密度も濃くとも充実感のある4年間で、ゼミの仲間との交流や永平寺での合宿講習などほかにも思い出は尽きないものがあります。

私自身は、縁あって卒業後も薬化学講座で教員の末端としてお世話になる機会をいただき、3年の短い期間ではありましたが、後輩でもある新たな6年制の学生の皆さんと一緒に、実務実習が充実された新課程での薬剤師養成の場にも立ち会うことができたことに感謝しているところです。

創設後最初の卒業生としての自覚と誇りを持ち、在学中の貴重な経験を活かしながら、これからも薬学や薬剤師の仕事に真摯に関わっていければと思っています。

最後となりますが、ご指導いただきました先生方に感謝を申し上げ、また薬学部のさらなる発展と卒業生、在校生の皆さんのご活躍をお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。

